

コロナ禍も2年の歳月が流れました

有田町老人クラブ連合会副会長

岩永愛子

老人クラブ活動も度々行事の変更を余儀なくされました。役員の皆様、会員の皆様には、これまで柔軟な対応で有老連の事業にご協力いただきました。ありがとうございます。

少しは、下火になったところへ新たな変異株「オミクロン株」が発生して、警戒感が高まってきました。しばらくは予断が許されない状況が続くと予想されます。

(コロナパンデミック) になって大勢集まることは三密になるからダメ。歌ったり、大声で話したり、笑ったりもダメ。静かにして、マスクも不織布で、まるで戦争中のような規制がある中で、有田町老人クラブ連合会では年間が一番大きな、老人クラブ大会を収容人員の規制の中で施行しました。後片付けの時、誰か「やっとひととつ終ったね。」「ほんとね。」と会話されていた言葉が耳に残っています。これは、約2年間、活動を制限されてきた中で、役員ひとりひとりが戸惑ったり焦ったりしながらようやく

く無事に終わったことに対しての安堵の一言のように聞こえました。

今世紀最大の脅威と言われるコロナ禍の下で様々な体験をしました。これを無駄にせず、これからの生き方の糧にしなければと思います。

有名な言葉に「(為せば成る、為さねば成らぬ何事も)」とあります。老人クラブの活動は、健康・友愛・奉仕です。この三つの理念をふれることなく、しっかりと念頭におきながらどんな困難な状況になっても、会員同士の知恵と勇気で開拓していくことができると確信しています。

会員同士が「入っていて良かった老人クラブ」と言い合えるようにこれからも頑張らねばと思います。最後に会員の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

さした。



本部役員です 今年もよろしくお願いします



後列左より 一ノ瀬・北川・西野・吉永・川久保・吉武・諸隈・森田・前田
前列左より 添田・犬塚・片岡・館林・松尾・岩永・雪竹・福島・石橋・岸川



新しい令和4年度は、上手くコロナにつき合いつつ、これまでどおりの活動を続けていきたいと思います。今回も大宅印刷さんのご協力を得ましたことに感謝申し上げます。

有老連だより

2022.1月発行 第50号
発行責任者 有田町老人クラブ連合会会長 松尾利興
発行 有田町老人クラブ連合会
西松浦郡有田町本町1001-1
有田町生涯学習センター3階3号
TEL 0955-43-2551

新年のごあいさつ

ウィズコロナに

新しい発想を



有田町
老人クラブ
連合会会長
松尾利興

明けましておめでとうございます。年が明けると、やはり気持ちが改まります。今年こそコロナ騒動も収まってくれたらと心から願っています。

昨年、一昨年と私どもは新型コロナウイルス感染症により大きな打撃を受けました。有老連の事業も縮小、変更、中止にせざるを得ませんでした。その中で、各単老の役員の皆さまを初め、会員の皆さまの献身的なご尽力のお蔭でひとつずつ取り組んでこられたことができたことに厚くお礼申し上げます。

コロナが収まりかけてやや安堵しかけたら、新たな変異株「オミクロン株」が世界中に広がってきました。

われわれは、マスクを着用し、まめに消毒、手洗いをし、人との距離を保つ、そして、ワクチンの接種で身を守るしかありません。医療関係者の努力、ワクチンの接種者の増加、国民のマスク着用その他の諸々の要因がうまく結び合っているからでしょうか。効果は着実に出ています。

それに伴い、規制緩和の傾向が出ています。一方、「オミクロン株」「第六波」対策を政府は整えています。

経済活動の本格的再開は誰でも待ち望んでいますし、再流行に備えて医療体制の充実も必要です。アクセルもブレーキも難しい方策を取っていくのは悩ましいところでしょうが、その時その時の流動的な状況を的確につかみながら対応していただきたいと思います。

コロナを少な、も短期的に失くすことは無理です。われわれ老人クラブは、コロナの存在を前提とした老人クラブ活動に取り組みでいかなければなりません。

令和三年度の我々の活動は、まさに「三つの密(密閉・密集・密接)」の回避を組み込んだ「新しい生活様式」という視点で活動に取り組みできました。そして、十分ながらも精一杯の成果を挙げることができました。

今年もウィズコロナのなかで、従来の事業をそのまま継続するのでなく、どのような工夫をすればよいのか、今までにない新しい発想で、会員全員で知恵を絞っていきましょう。

先日九十九歳でお亡くなりになった瀬戸内寂庵様のことば「どんなに熱い恋愛だって、その気持ちは五年も続きはしません。それと同じで、いまコロナでどんなに孤独で苦しくても、その苦しみは永遠には続きませんよ。『すべてのもは移り変わる』というのがお釈迦さまの教えです」このことばを励みにして、新しい年を新しい気持ちで、会員同士しっかり手を取り合って、老人クラブ活動に取り組みでいきましょう。最後になりましたが、新しい年が皆さまにとりまして良い年になることを心から祈念申し上げます。

優良市町老人クラブ

連合会賞を受賞

12月7日(佐賀市「さがサポセン」11階いきいき館)で、県老連の会長表彰式があり、有老連は標記の団体表彰を受けました。これは、有老連の日頃の老人クラブ活動、特に、友愛活動として独り暮らし宅の訪問など地域福祉の一役を担い、コロナ禍のなかでも工夫を重ねながらの地道な活動に取り組みでいることが評価されたものです。



令和3年度 老人クラブ育成厚労表彰 14名
優良市町老人クラブ連合会表彰 2クラブ

有老連活動報告

11/25
有田町
老人クラブ大会



ステキなメロディー
若さと華やかな女性部の
いきいきクラブ体操



10/26
県老連
グラウンドゴルフ大会



マイペースで頑張って
入賞しました



12/1
有田町危険物安全協会より
住宅用火災警報器
贈呈式



6/29
健康ウォーキング
222名



新緑の中での気持ち良い
ウォーキング

6/9
ロックの日における
交通安全喚起周知活動



9/20
全国一斉 社会奉仕の日



お疲れさまです!



5/19
定期総会



7/12
有田地区交通安全協会より
反射材タスキ等
贈呈式



9/30
グラウンドゴルフ大会
ダブルス戦



2人の息の合った
プレーを発揮



9/24
グラウンド
ゴルフ大会
個人戦



頑張ってます



10/4
ゲートボール
大会



通ってくれ…と
願いを込めて



10/15
佐賀県共同募金会
有田町支会へ
佐賀県豪雨災害
義援金を
寄託



11月25日(木) 焔の博記念堂
文化ホールにて、令和3年度有
田町老人クラブ大会を開催し2
69名の会員が参加しました。
式典では、松尾佳昭町長のご
臨席を賜わり、原田寿雄県議会
副議長のメッセージを披露。福
岡資磨参議院議員からは祝電を
頂戴いたしました。
式典終了後は、女性部役員の
皆さんを中心に、いきいきクラ
ブ体操を行いました。華やかな
若さを、会場一杯に振りまいて
もらいました。



有田町老人クラブ大会

引き続き、さが雑学博士の平
尾茂さんに「佐賀おもしろ雑学
湯る酒く佐賀」と題して講演
をしていただきました。佐賀の
温泉(特に有田温泉の知られざ
る良かところ)や様々な歴史、方
言をいっぱい披露され、平尾先
生の、佐賀を愛される思いと研
究熱心なお姿に出席会員一同が
感心したものです。
その後、佐賀県警察音楽隊の
生演奏を楽しみました。懐かし
いメロディーに、美空ひばりの
ヒットメドレーは全会員知って
いる曲であり、前回に続き演奏
に引き込まれました。にやんこ
パトロールでは、若い警察官の
皆さんが、親しみやすい服に着
替えての演奏。詐欺を防ごうの
楽しい一コマでした。最後のア
ンコール曲は、明日があるさの
曲で会場の皆様と一緒に歌って
口ずさみ、楽しい時間を過ごし
ました。





6/5
西有田駅・体育館
周辺の環境美化



6/1
輪投げ
大会



5/6 薬草研修会



6/29
防災
講習会

西有田支部 活動報告



7/20
グラウンドゴルフ大会



10/22
ベタンク大会

一打一打
逆転の連続



11/2
ニュースポーツ
輪投げ大会

優勝・準優勝チーム



ゲートボール



受付の女性部役員



11/6
レクリエーションスポーツ大会
参加333名

全員でラジオ体操



気持ち良くウォーキング



グラウンド
ゴルフ



輪投げ

全員 輪になって踊りました



有田支部 活動報告



うまくいかないなー 30組90名参加



優勝した長寿会B

7/8
ベタンク競技大会

4/7
マスコット贈呈



有老20個・中部小90個贈呈しました

10/22
出前講座
フラワーアレンジメント



フラワーツリーを作りました

10/8
女性部研修



多世代交流センター(ゆいたん)で
研修



6/7
手芸教室

四つ葉のクローバーを
作りました

11/11
ダーツ大会



女子の部表彰
頑張りました



11/17
高齢者まつり 演芸部門



249名の出席



金寿会 かかし



奴さん青葉会の皆さん



元気で楽しく踊りました
(遊生会)



泉寿会の皆さん
コロナに負けないで
長生き音頭を踊りました



福寿会の皆さん
好きになった人

11/8
高齢者まつり
スポーツ部門



ピンゴをねらってエイ!



入りますように

ピンボウリング
投球フォームを
見習ってね



総合優勝 金寿会

スカットして優勝しました
楽楽会

九十九寿会 (白川・稗古場)

健康づくりと親睦旅行

九十九寿会の活動の第一は、健康づくりと親睦です。幸い小学校が近くにあり、毎週火・水・木を上のグラウンドで、土・日を下のグラウンドで健康づくりと親睦を深めるため、早朝よりグラウンドゴルフを行っています。環境づくりを第一歩として、開始前に草むしり・石ころ等の清掃を行い気持ちよくゲームを楽しんでいます。9時から休憩を挟み10時30分位まで2ホール行います。「また明日ね」と元気で会えますよう願っています。一喜一憂して帰ります。また、時には小学校の生徒や通学する人達にも愛でてもらうため、チューリップやひまわり・秋桜等、四季折々の花壇作りをしています。九十九寿会GG愛好会の大会は勿論、A班大会の親睦グラウンドゴルフ大会等、気持ちよい環境づくりの中で楽しんでおります。少し頭を使い、足腰を動かして元気で年齢を重ねることが出来る様に楽しく過ごしています。

また、2年振りの日帰り旅行、10月25日に30数名の参加の下、佐賀県庁をメインに見学、県議の原田寿雄様の出迎えを受け入る事が出来ない知事室や県議会議場を拝見、詳しく説明をして頂き大変興味深い話を聞くことが出来ました。県庁を後にして、少し早い干潟よか



公園のシチメンソウを見て帰路に着きました。久しぶりに楽しく気分転換が出来て、皆さん大変喜んでおられました。次回の旅行まで元気で過したいものです。



遊生会 (戸杓)

コロナに負けるな

遊生会是有田駅近くの住宅地、戸杓区85名(74歳以下26名、75歳以上59名)で活動しています。昨年よりのコロナ禍のため活動が制限され、高齢者の外出も少なくなりました。毎月10日の定例会では、コロナ禍前は40名程度の出席で、弁当を食べ、お酒を飲み、カラオケで歌い、お喋りで近況報告をしていました。今は20名程度となり終了後すぐ解散です。家の中で籠もりがちな会員の皆様に外出していただくため、

・戸杓天満宮の清掃、毎月20日掃き掃除、草むしり、特設戸杓公民館のプラント、戸杓入口の花壇の季節の花の入れ替え
・通いの場「わか、かえる会」毎月3回、3名のサポーターさんの指導の下、日頃動かさない筋肉などを刺激しています。
・サロン「ゲーム三昧」毎月2回、遊生会が所蔵しているニュースポーツ5種類の道具を使い、賞品を目指して楽しんでいます。

・グラウンドゴルフは同好会・有老連・協会のゲームに積極的に参加しています。会員の皆様にはコロナ禍ではありませんが、「出来るだけ家の外に出て、体を動かす、笑顔で楽しく、お話しが出来れば機会をつくりたい」との思いから、このような活動を行っています。

コロナ禍の中、感染予防は欠かせません、マスクの着用、手指の消毒は勿論のこと、空気清浄機を動かして、使用する椅子やゲームで使用する道具類等も消毒しながら、会員の皆様が少しの時間でも安心して楽しんでいただけるよう心がけています。現在、卓球クラブの設立を準備



楠木原老人クラブ

景観風靡な楠木原

楠木原は佐世保市に接し、四年前に楠木原ファーム農事組合法人が設立されてから、園地全体、管理が徹底されて地域一帯は素晴らしい景観を保っています。

楠木原老人クラブは、現在男性32名、女性42名の74名で構成しています。

クラブの活動は毎月の班長会と二カ月に一回の奉仕作業(三段馬・薬師如来堂・公民館・お寺)四カ所の清掃作業を行っています。参加者は毎度40名程度参加してくれます。作業終了後は、会員の情報交換を兼ねてお茶を飲みながら楽しい会話が弾んでいます。

女性部の友愛活動(二人暮らしの訪問)等は民生委員と連携を組みながら、一人暮らし、高齢者宅を訪問して、話しかけ等の安否確認等に努めています。コロナ禍での対話の確認の難しさを痛感しています。

健康維持のため、月、水、金曜日の週3回グラウンドゴルフを楽しんでいます。このグラウンドゴルフもクラブを結成して、年に数回大会を行い、会食を楽しんでいます。

有老連・西有田支部の各行事には積極的に参加するように努め、健康・友愛・奉仕の精神を大事に活動しています。



コロナ発生前は日帰り旅行・一泊旅行を楽しみに行っていました。現在はできていません。早くコロナ感染が収束して、以前のように楽しい旅行に行ける日を願っています。

下山谷 福寿会

始まりは城麓青年団

下山谷福寿会は、会員数 男子39名女子53名合計92名で構成しています。

組織としては、会長、副会長兼会計、女性部長、体育部長、各班班長9名、サロ担当からなり、西有田支部、支部長会後の土曜日 午前9時から役員会議を行っています。行事予定等を班長より会員に報告周知しています。

今年度の役員会議はコロナ禍の中でも集会所施設大広間で密接を避け、窓を全開して行い、一度も休んだ事はありませんが、因みに昨年は、花壇後そのまま外で会議を行った事があります。

年間スケジュールとしては、有老連及び西支部の行事とは別に
一、山田神社境内清掃が8月・12月の年に2回
二、共同墓地清掃が7月・12月の年に2回
三、農地保全組合員と子供会父兄参加でのコスモス移植と手入れを7月に1回
四、総会(3月)
五、研修旅行を11月に1回
六、サロン活動として各方面の講師をお呼びし勉強会、脳トレ会、昼食会等の活動を随時行っています。

しかし、会員一同が一番楽しみにしている旅行が昨年からのコロナ禍の影響で、できていません。

旧大山村、西有田町の時代 下山谷区には「城麓青年団」が存在しました。昔

は、村 町主催の体育大会は無く、青年団主催の体育大会だったので、「城麓青年団」は、大いに活躍していました。その時の「城麓青年団」が今の、下山谷福寿会の主メンバーです。「城麓」とは、旧唐船城の麓だったので、命名されました。区民の一部は、旧唐船城(松浦党・鍋島藩)の家来であり、鍋島藩から徳川軍として「島原の乱」の鎮圧にも参戦された、記載されています。今でも区内の一部は城下を思わせる様な迷路になっています。

今後も、各行事の遂行に健康・奉仕の心で頑張っていきます。

